

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称	
款	項	目	大	中	小		
58	05	25	26	10	15	たかつ地域コミュニティ活動支援事業費	
担 当			所属コード		所属名		担当者
			671700		まちづくり推進部地域振興課		石丸・金井
							連絡先
							内線64351

事業の概要

事業の概要		・町内会・自治会の役割や活動、地域との関わりについて理解を深め、地域社会への関心度の向上、町内会・自治会の加入促進、担い手の育成、効果的な運営等の活動の充実に取り組み、地域コミュニティ全体の活性化を図る。 ・併せて区民の主体的な地域のまちづくり活動に係る各種支援策への橋渡しの幅広い支援を図る。							
実施期間	事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域コミュニティ活性化事業費			
	平成20年度		—						
地域の課題と現状		・住民ニーズの多様化、地域コミュニティの希薄化の中、地域社会への関心は低下し、地域社会の基礎組織となる町内会・自治会においては、役員の高齢化、後継者不足、加入率低下などの課題があり、地域社会への関心を再び高め、地域コミュニティを活性化することが求められている。 ・また、地域社会がかかえるさまざまな課題を市民自ら解決していこうとする活動が活発化する中で、市民の主体的な地域まちづくり活動への支援など区役所が果たすべき役割が高まっている。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	633	198	3,021	1,801	1,964	1,415		
	財源内訳								
	国庫支出金								
市債									
その他特財									
一般財源	633	198	3,021	1,801	1,964	1,415			

計画（Plan）	
事業の目的	・町内会・自治会の活動や地域社会について、広く周知し、地域活動の関心を高め、地域社会への理解促進、未加入者に対する加入促進、担い手の育成、活動の充実等に取り組み、地域コミュニティ全体の活性化を図る。 ・区内における市民活動・まちづくり活動の活性化を図る。
今年度の事業の取組内容	・町内会・自治会の活動や地域社会での役割について、広く市民に周知し、興味や関心を高めてもらうよう紹介物の掲出、広報冊子等の配布などの周知 ・市民活動支援ルーム運営、市民活動見本市の実施

実施結果（Do）											
上記取組内容に対する達成度			2		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等			・大規模イベント（高津地区親子運動会〔10月20日・2000人〕、高津区子どもフェア〔11月10日・800人〕）において、町内会自治会加入促進パンフレットを配布し、啓発活動を実施した。 ・区役所未利用者の多い年度末（3月19日・21日）に区役所1階に町内会加入相談ブースを設置し、区内転入者等に対しパンフレット等の広報冊子を配布し、町内会の活動や地域社会での役割を周知した。 ・若年層の町会加入や人材発掘の課題解決のため、町会長や役員を対象とした意見交換会を年2回（4月27日、12月9日）実施した他、研修会を1回（2月21日）実施した。 ・市民活動支援ルームの登録団体連絡会を令和6年12月20日に実施した。 ・市民活動見本市（まちかつフェス高津）を令和6年11月24日に高津市民館で開催した。								
数値で把握することが可能な取組			指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
			1	活動指標	イベント等における周知を図る広報チラシの配布や掲示物の設置等の実施回数	目標	5	5	5	回	
						実績	5	5	5		
			2	成果指標	市民活動見本市参加申込団体数	目標	30	30	35	団体	
						実績	33	35	42		
			3			目標					
						実績					
			4			目標					
						実績					

評価（Check）				
事業を取り巻く社会環境の変化		・町内会・自治会は役員の高齢化、後継者不足、加入率や活動参加率の低下等の様々な課題を抱えているが、災害時など町内会・自治会活動を通じた支援、つながりが果たす役割は非常に大きいことから、加入促進の必要性が求められている。 ・地域社会がかかえるさまざまな課題を市民自ら解決していこうとする活動が活発化する中で、市民の主体的な地域まちづくり活動への支援など区役所が果たすべき役割が高まっている。		
事業の見直し・改善内容		☐ 実施（直近） ☐ 年度 ☐ 今後実施(☐ 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載				
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由		住民意識の多様化、地域における交流機会の減少が課題となっている中、地域への関心を高めるとともに、地域コミュニティの活性化の推進が継続して求められている。	
有効性	活動結果（活動指標等）に対し事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由		来庁者が多い時期に、町内会・自治会の役割を紹介する冊子配布等を行い、町内会等未加入者を中心に普及啓発活動を効果的に実施できた。また、区内で活動を行う市民活動団体についても、活動の場を提供し活動を促進することができた。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由		社会情勢の変化を踏まえながら、より効果的な地域コミュニティの活性化につながるような事業の実施に向け、改善の可能性はある。	

改善（Action）			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	・災害時や社会情勢の変化に対応するため、町内会や自治会における地域コミュニティの活性化の必要性は高く、地域コミュニティの活性化を阻む要因や町内会・自治会活動の課題の解消につながるよう継続して取り組む。 ・市民活動団体への支援についても、団体アンケート結果等を用いて方策について検討していく。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	10	05	たかつ音楽・スポーツネットワーク事業			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671700		まちづくり推進部地域振興課			大賀・堤	64355

事業の概要										
事業の概要		区内にある多様な音楽・スポーツ資源を活用した事業を展開し、地域における音楽文化やスポーツへの参加機会の拡充を図り、魅力のあるまちづくりを推進するとともに、音楽・スポーツを通じた区民同士の出会いと交流を促進し、地域コミュニティの活性化を図る。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業				
		平成2年度	—							
地域の課題と現状		希薄となった地域コミュニティの活性化や世代間交流を図る取組として、区内にある多様な音楽・スポーツ資源を活用した事業を展開し、地域における音楽文化やスポーツへの参加機会の拡充を図り、魅力のあるまちづくりを推進することが求められている。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	5,088	4,898	5,247	4,902	5,424	5,198			
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財			380	314	320	320		
一般財源	5,088	4,898	4,867	4,588	5,104	4,878				

計画 (Plan)	
事業の目的	区民や地域の関係団体との協働により、年齢や性別、障害の有無にかかわらず誰もが楽しむことができる心のバリアフリーに配慮した各種イベントを開催し、音楽・スポーツを通じた区民同士の出会いと交流を促進し、地域コミュニティの活性化を図る。
今年度の事業の取組内容	【スポーツ】ファミリースポーツ緑日、障害者スポーツ体験イベント(スポーツインクルージョン緑日)、区内で活動するダンスチーム等を対象とした発表イベント(ダンス！ダンス！たかつ)を実施する。 【音楽】区内の音楽資源を活用し、区内の音楽活動を推進するために、花コンサート、区民音楽祭、こどもの音楽及びプラザ橋みんなで楽しむ音楽事業を実施する。

実施結果（Do）									
上記取組内容に 対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	【スポーツ】 ①ファミリースポーツ緑日（12月14日@久本小） ②スポーツインクルージョン緑日（2月15日@高津SC） ③ダンス！ダンス！たかつ2025（2月9日@高津市民館） 【音楽】 花コンサート（計10回）、区民音楽祭（計1回・2会場開催 市民館・溝ノ口劇場）、こどもの音楽及びプラザ橋みんなで楽しむ音楽事業（計12回）を実施								
数値で把握することが可能 な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	スポーツイベント実施回数	目標	3	3	3		回
				実績	3	3	3		
	2	成果指標	スポーツイベント参加人数	目標	2,000	3,000	5,000		人
				実績	3,300	5,300	6,100		
	3	活動指標	音楽イベント実施回数	目標	23	21	23		回
				実績	23	21	23		
	4	成果指標	音楽イベント参加人数	目標	2,750	2,700	3,200		人
				実績	2,728	3,284	3,986		

評価（Check）

事業を取り巻く 社会環境の変化		地域包括ケアシステムや障害者差別解消法の施行により、障害の有無に関わらず、誰もがお互いを認め合い交流できる場の提供が必要となっている。また、かわさきパラムーブメントに基づくレガシー形成に向けた取り組みとして音楽文化やスポーツに対する機運が高まっている。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施（直近） 元 年度 □ 今後実施（ 年度から）		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		【スポーツ】かわさきパラムーブメントの取り組みとして、平成30年度から新たに障害者スポーツ体験イベントを実施した。令和元年度から、地域コミュニティの活性化を図ることを目的としたダンスイベント事業を開催した。		
評価項目				
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	かわさきパラムーブメントに基づくレガシー形成に向け、音楽やダンス文化、スポーツに対する気運が高まる中で、心のバリアフリーを目指した事業への関心やニーズは高まっており継続的な実施が必要である。		
有効性	活動結果（活動指標等）に対し事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	多くの事業で定員を超える応募があり、成果は上がっているといえる。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	各委託先との協議を行い、役割分担の見直しや事業の効率化などについて改善の可能性はある。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	さらなる多世代交流、かわさきパラムーブメントの推進を目指し、区内の音楽、ダンス文化、スポーツに関するイベントを開催することで、地域の活性化と参加者同士の交流につながるよう機会を創出していく。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	10	10	たかつまちおこしネットワーク事業			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671700		まちづくり推進部地域振興課			田鍋	64352

事業の概要										
事業の概要		取組イベントを通じて、青少年の健全育成、親子のふれあいと健康増進並びに近隣相互の親睦を深めあうことによって、地域の活性化を図る。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域コミュニティ活性化事業			
		昭和41年度		—						
地域の課題と現状		近年マンションや新興住宅の建設が進み、地元住民と新規住民が接する場が少なくコミュニティの希薄化が課題となっている。また、高津区民生活に関わるニーズ調査（令和2年度実施）でも、「近隣の住民同士の関係が薄れている」と、まちの課題・問題点に挙げる区民が増加傾向にある。本事業は、長い伝統と歴史に育まれて地域に定着している事業であり、今後も継続して実施することで、地域の親睦を図るとともに地域コミュニティの形成を図る。								
予決算 （単位：千円）	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	3,125	1279	3,125	2,574	3,178	2,829			
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
一般財源	3,125	1279	3,125	2,574	3,178	2,829				

計画 (Plan)	
事業の目的	地域交流の活性化と高津区の魅力と地域特性を知る機会を提供すること。
今年度の事業の取組内容	【親子運動会】 各地区とも実行委員会形式をとり、高津地区連合町内会、橋地区連合自治会を中心に関係団体で構成する。年に数回、実行委員会を開催し、その他に団体ごとに会議を開催する。様々な団体との連携による円滑な事業実施を図る。 【ふるさと祭り】 移動動物園やゲームコーナー、工作など子ども向けイベントを実施する。 【子どもフェア】 各団体からの推薦者により構成される運営委員会を組織し、水辺での自然観察イベント、風揚げ等のなつかしい昔遊びのイベントを実施する。 【スプリングフェスタ】 国の登録有形文化財である円筒分水を通じて、地域の活性及びにぎわいの創出を目的としてイベントを実施する。

実施結果（Do）										
上記取組内容に 対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・親子運動会：高津地区10月20日（日）高津中学校にて実施 参加者2,000名/橋地区10月20日（日）橋中学校にて実施 参加者1,000名 ・ふるさと祭り：8月6日（日）川崎市民プラザにて実施 参加者：6000名 ・子どもフェア：11月13日（日）二子河川敷にて実施 参加者：1,500名 ・円筒分水スプリングフェスタ：3月22日（土）久地円筒分水にて実施 参加者：700名								
数値で把握することが可能な取組		指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
		1	成果指標 親子運動会参加者	目標	7,000	7,000	7,000		人	
				実績	中止	中止	3,000			
		2	成果指標 ふるさと祭り来場者数	目標	2,000	2,000	2,000		人	
				実績	200	5,000	6,000			
		3	成果指標 子どもフェア参加人数	目標	1,500	1,500	1,500		人	
				実績	1,000	500	1,500			
		4	成果指標 円筒分水スプリングフェスタ参加者	目標	1,000	1,000	1,000		人	
				実績	中止	600	700			

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		都市化や地域コミュニティの希薄化が更に進む中、地域の自然との触れ合い、子供達の仲間作り、地域の活性化、地域社会への関心を高めることが求められる。		
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) ☐ 年度 ☐ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載				
評価項目		評価		
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子供の数が減少し、地域コミュニティの希薄化から地域組織の減少が進み、これに伴う地域イベントも減少している中、子供達が地域の自然に触合う機会、地域社会への関心を高める機会を提供する意義は大きく、多くの住民が来場し子供達を中心とした地域交流の場とする事業に対するニーズは高いと考えている。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	今年度開催したイベントについては、親子運動会については、コロナ禍を経て6年振りの開催ということで参加者数が減少したが、他の事業については、安定した参加者を得ていることから、順調と考えている。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	委託団体や関係団体と密に会議や連絡調整を行いながら費用対効果を十分に考慮した企画・運営、及び事務改善を進めていく。		

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
		■住民ニーズに適應した事業展開を目指すと共に、さらに効率的・効果的な運営を視点に入れて継続して実施していく。 ■各地域の特色をより生かせる事業を行うことで「地域の活性化」、「ふるさと意識の醸成」を進める。 ■地域団体等と協力し、事業の執行方法等を工夫・改善しながら、世代間交流地域の自然、社会環境の理解促進を図る機会を引き続き提供する。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
58	05	25	26	10	30	高津区学習・文化ネットワーク事業		
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			671750		まちづくり推進部生涯学習支援担当		水野	814-7603

事業の概要										
事業の概要		外国人市民と日本人市民が違いを認め合い、ともに生きる社会をつくることを目的とした多文化共生推進事業、生涯学習を推進する施設間の連携強化を目的とした生涯学習支援事業を実施することにより、幅広い区民間交流や地域参加を促し、コミュニティの活性化を図ります。								
		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業		
実施期間		—		令和6年度						
地域の課題と現状		歴史的・文化的資源に恵まれ、多くの生涯学習施設をもつ高津区には、あらゆる世代が生活し、外国につながる児童生徒をはじめ外国人市民の人口が増加しています。このような状況においては、区内の人材や資源を活用し、また外国人市民と日本人市民が互いに違いを認め合える事業を実施することにより、世代や出身を問わず幅広い区民が交流する機会を設ける必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	623	555	603	468	601	550			
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財	15							
	一般財源	608	555	603	468	601	550			

計画 (Plan)	
事業の目的	区民が区の魅力を再確認し、国籍・民族・文化の違いが多様性や豊かさにつながることを実感できるようにします。
今年度の事業の取組内容	外国人市民が安心・安全かつ楽しく生活することを目的とした防犯講座、まちあるき、武道体験、学習支援等を行う多文化共生推進事業、区内生涯学習施設による出前講座を実施。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	4月13日～令和7年3月15日の間で、多文化共生推進事業として多文化ワークショップ、多文化啓発講演会、地域めぐり、防犯講座、多文化子ども塾（事業）を実施。10月2日～11月9日の間で、生涯学習支援事業「出前講座」を4講座開催。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標 講座の実施（参加者）	目標	30	21	21		人	
			実績	30	21	22			
	2	成果指標 体験活動事業の実施（参加者）	目標	30	25	30		人	
			実績	30	24	21			
	3	成果指標 体験活動事業の実施（満足度）	目標	60	60	60		%	
			実績	70	90	70			
	4	成果指標 講演会の実施（参加者）	目標	30	30	30		人	
			実績	30	29	25			

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		外国人市民の人口は依然増加傾向にあるため、誰もが互いに認め合いながら共生するまちづくりを図る多文化共生推進事業の継続と更なる事業内容の充実が求められています。区内施設による出前講座は満員になる講座が多く、区民の関心は高いと感じられます。よって事業の継続が求められています。		
事業の見直し・改善内容		□ 実施 (直近) 年度 ■ 今後実施 (7 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		引継ぎ多文化共生の取組は継続する必要があるものの、高津市民館指定管理者制度導入に伴い、事業の運営を見直し、外国につながる子どもの学習支援及び講演会などの啓発事業は社会教育振興事業として指定管理者が実施する。		

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	外国人市民が増加傾向にあることから引継ぎ、市民との連携による事業のニーズは高いと思われます	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	多文化共生事業の毎回の参加者数は増加傾向にあり、出前講座は多くの講座が満員のため、一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	多文化共生事業については次年度以降の運営手法を大幅に見直し、指定管理者と市民との連携で事業を実施する。	

改善（Action）			
今後の事業の 方向性	方向性区分	方向性	実施結果（Do）や評価（Check）を踏まえた今後の方向性
	Ⅰ．現状のまま継続 Ⅱ．見直し・改善のうえ継続 Ⅲ．事業終了	Ⅲ	運営主体を行政と市民団体との連携から、指定管理者と市民との連携を通じた事業を実施していく。出前講座は引継ぎ区内の生涯学習施設が高津市民館で事業を実施できるような仕組みを構築した。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
58	05	25	26	10	40	区民祭開催経費		
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			671600		まちづくり推進部総務課		戸塚	64113

事業の概要										
事業の概要		地域コミュニティの活性化を図るため、地域に密着した事業である高津区民祭の開催を支援します。								
実施期間		事業開始年度 昭和49年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業費		
地域の課題と現状		高津区民祭は、地域有志や地縁団体により構成される実行委員会の主催で開催される祭りで、実行委員会事務局も地域有志が担っています。地域活性化や郷土愛・互助精神の醸成に寄与する事業として、引き続き区民祭の開催を支援する必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度		R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費		200	0	200	200	200	200		
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
		一般財源	200	0	200	200	200	200		

計画 (Plan)	
事業の目的	地域に密着した事業である高津区民祭の開催を支援することで、地域コミュニティの活性化を図ります。
今年度の事業の取組内容	区民により構成される高津区民祭実行委員会に対し後援名義使用を承諾し、実行委員会に対し補助金を交付します。

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	衆議院選挙と区民祭の日程が重複してしまったため、開催直前で急遽中止となってしまいましたが、区民祭の広報充実を目的に、実行委員会に対し補助金を交付するとともに、市の後援名義を承諾しました。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	区民祭の実施	目標	1	1	1		回	
				実績	0	1	0			
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
				実績						

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		区の人口が増加している中、新規住民の郷土意識醸成は継続して課題となっており、区民祭の開催を通じて地域の絆を深める互助精神を養うため、広報の工夫等により区民への参加を一層積極的に促す必要があります。		
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) ☐ 年度 ☐ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載				
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域包括ケアシステムの構築や地域防災において、地域住民の互助連携の重要性が高まっている状況のため、区民祭に対するニーズは薄れていないと考えます。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	令和6年度は開催直前で急遽中止になってしまいましたが、申込段階における各拠点での出店や参加団体数は前回開催時から概ね同数を維持できているため、一定の成果があったと考えられる。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	区役所主催事業ではなく、補助金額も主催者である実行委員会からの申請によりますが、補助対象である広報事業について、協力や実施手法に関する助言等により効率を向上させる余地はあると考えます。		

改善（Action）			
今後の事業の 方向性	方向性区分	方向性	実施結果（Do）や評価（Check）を踏まえた今後の方向性
	Ⅰ．現状のまま継続 Ⅱ．見直し・改善のうえ継続 Ⅲ．事業終了	Ⅰ	区民祭実行委員会の動向等を把握しながら、継続して支援を行います。